



一般財団法人 地域創造

Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造の事業のご紹介

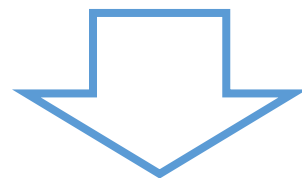
一般財団法人 地域創造

シンボルマークの形には、地域の人びとと創造力の源であるアーツ（Arts）とが出会い、時と場所を越え紡ぎあい、個性的な顔の「地域」が誕生することが表わされています。色彩は、日本古来の真朱（しんしゅ）を用いて、地域の記憶・遺産を未来の創造に繋ぐ大切さも表現されています。

（デザイン：近藤一弥）

地域創造とは

- 文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、全国知事会、全国市長会、全国町村会等が発起人となって、地方公共団体の共同組織として平成6年（1994年）に設立
- 地域における文化・芸術活動を担う人材の育成や、公立文化施設の活性化など、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくり等を行うとともに、地方公共団体を実施するこれらの活動等を支援します



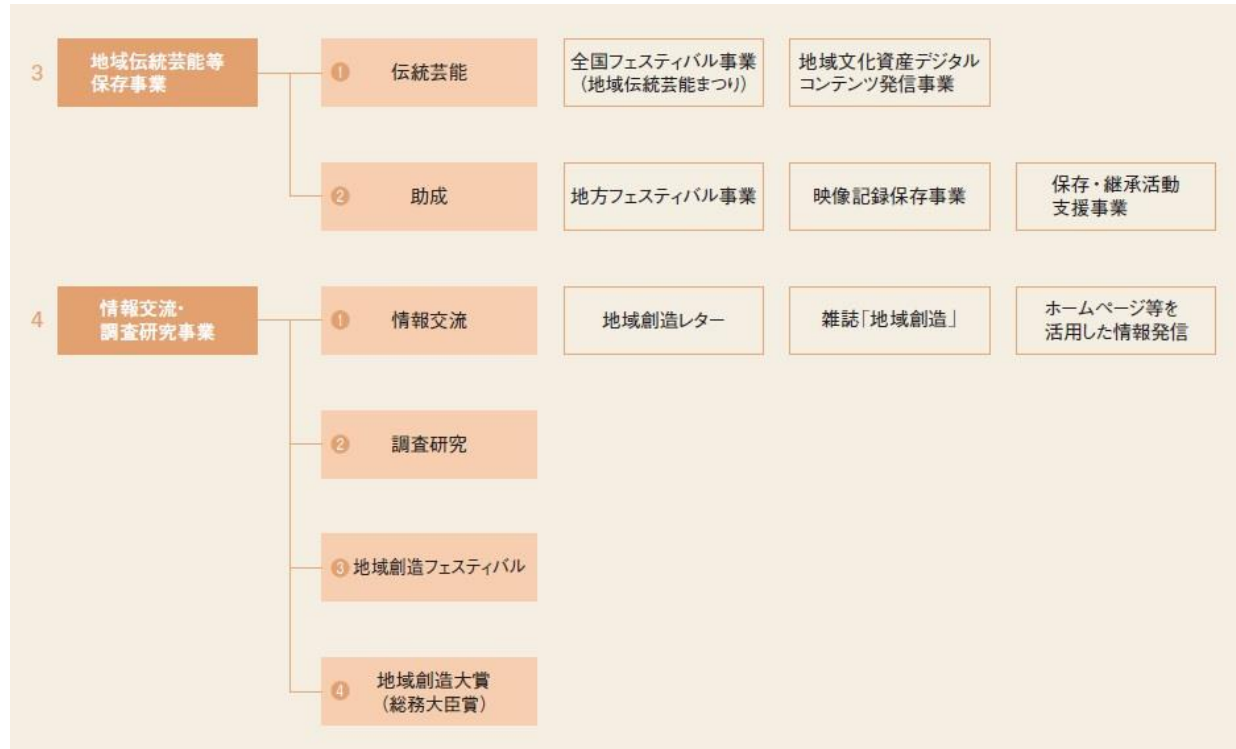
地域住民が良質な文化・芸術を創造し、享受することができるようなゆとりと潤いに満ちた健やかな地域社会の実現を目指します

地域創造の事業の柱

○一般財団法人地域創造の事業



地域創造の事業の柱



研修交流事業 (1)

○ステージラボ

- ・ 公立文化施設等の職員を対象に、事業の企画制作、施設運営、地域との関わりなどホール、劇場等の運営に欠くことのできない要素を体得する4日間の短期集中型研修
- ・ 「ラボ（実験室）」の名のとおり、体験型プログラムやグループ討論など講師と参加者の双方向のコミュニケーションを重視。少人数ゼミ形式により実践的な内容に取り組む
- ・ 【入門コース】 【自主事業コース】 の2本立て（回によっては【公立ホール・劇場マネージャーコース】も実施）
- ・ 令和2年度は、オンラインセッションとして令和3年2月に実施
- ・ 令和3年度は、令和4年2月に豊橋市（愛知県）で開催
- ・ 令和4年度は、大分市（大分県）と川崎市（神奈川県）で開催
- ・ 令和5年度は、札幌市（北海道）と岡山市（岡山県）で開催

大分セッション（令和4年7月）



【ホール入門コース】
「新しい視点で街を見てみよう」
（大分市内の施設見学）



【自主事業コース】
「作品発表・体験とディスカッション」



【公立ホール・劇場マネージャーコース】
「劇場自主事業のグランドデザイン」

研修交流事業 (2)

○リージョナルシアター

- ・プロの演出家を公共ホールに派遣し、演劇の手法を使ったワークショップを実施
- ・公共ホールの地域住民への浸透やスタッフの企画・制作能力の向上を図る
- ・短い芝居の創作体験等で参加者に演劇の魅力に触れてもらい、地域の課題解決や魅力の再発見等にもつなげる
- ・令和5年度は5団体で実施

福井県大野市（令和3年7月）



- ・高校でのアウトリーチ。『走れメロス』のワンシーンを、道具や台詞を追加するなどグループごとに演出して発表し、創作の過程の楽しさを体験。

○市町村長セミナー

- ・市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）との共催で市町村長等向けのセミナーを開催
- ・地域創造の枠では、文化・芸術を通じた地域づくりに関する講演等を実施するとともに、アーティストによるミニコンサート（模擬アウトリーチ）を実施し、直接芸術に触れる体験を提供

市町村職員中央研修所（令和4年4月）



- ・泉真由（フルート）×松田弦（クラシック・ギター）のデュオによるミニコンサートの様子
- ・セミナー受講者をはじめ約100名の参加者が模擬アウトリーチを体験

○地域創造セミナー

- ・文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり及び芸術文化関係者の広域的な連携強化を目的として、都道府県主催の研修会に対し講師を派遣し費用を負担
- ・令和5年度は、福島県、愛知県、千葉県、高知県で実施

北海道（令和3年11月）



- ・野村政之氏（長野県文化政策課文化振興コーディネーター）によるアーティスト・イン・レジデンスの事例紹介の様子

公共ホール等活性化支援事業（音楽、邦楽）

- ・地域創造がオーディション等により選考したアーティストと地域の公共ホールがアイデアを出し合い、クラシック音楽や邦楽を住民の方に届ける事業
- ・経験豊富なコーディネーターを派遣し、公共ホール等の企画・制作能力の向上に寄与
- ・事業の実施を通じて、公共ホール等と地域とのネットワークづくりのきっかけに

○クラシック音楽（おんかつ）

- ・アウトリーチとホール公演で構成
- ・アウトリーチは、学校、福祉施設など地域の要望に応じ選定が可能
- ・「導入プログラム」は、地域創造が実施団体と共催し経費を負担
- ・その後継続する場合、「支援プログラム」として最長5年間助成
- ・令和4年度は、導入13団体、支援31団体で実施

三重県伊賀市（令和4年11月）竹多倫子



社会福祉協議会でのアクティビティ

大分県宇佐市（令和4年10月）新野将之



院内竜童太鼓へのアクティビティ

○邦楽

- ・アウトリーチとホールプログラムで構成
- ・ホールプログラムは、公演または楽器体験などのワークショップを選択することが可能
- ・地域創造が実施団体と共催し経費を負担
- ・令和4年度は、8団体で実施

新潟県魚沼市（令和4年11月）川田健太、谷富愛美、風間禅寿



小学校でのアウトリーチ



魚沼市小出郷文化会館でのコンサート



公共ホール等活性化支援事業（現代ダンス）

- ・現代ダンスのアーティストが地域を訪れ、アウトリーチとホールでの公演を実施
- ・以下の3つのプログラムを順次選択し、3年間ですべてを実施
 - A 地域交流プログラム
 - B 市民参加作品創作・公演プログラム
 - C 公演プログラム令和4年度は、10団体で実施
- ・事業実施の前年7月に準備のための全体研修会を開催
アーティストの実演を見学し、コーディネーターの助言の下で企画を検討
- ・その後継続して実施する場合は、支援プログラムとして地域創造が助成
令和4年度は、4団体で実施

愛知県小牧市（令和4年10,11月）康本雅子



小牧市民会館での市民参加公演『マイ葬式』
(B：市民参加作品創作・公演プログラムでの創作及び公演の様子)

令和4年度公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会
東京都豊島区（令和3年10月）



東京芸術劇場での研修会の様子

公共ホール等活性化支援事業（公立美術館の支援）

- ・公立美術館による共同巡回展を支援し、美術館同士の連携や収蔵作品の利活用を促進
- ・共同巡回展にアドバイザーを派遣し、市町村立美術館の学芸員の企画制作能力向上に寄与

令和3・4年度市町村立美術館活性化事業



令和4年度第22回共同巡回展 「土門拳記念館コレクション展 土門拳一肉眼を超えたレンズ」を開催

参加館：安曇野市豊科近代美術館、直方市美術館(直方谷尾美術館)、安来市加納美術館、八幡浜市美術館

令和3・4年度 公立美術館地域展開型研修事業 (美術館出前 (オーダーメイド) 型ゼミ)



令和3年度は宮城県にある塩竈市杉村惇美術館にて2回のゼミを開催

◎第1回研修会 (8月17日)

「アフターコロナの集客方法」講師：熊谷淳一 (株式会社ノイエ代表取締役)

◎第2回研修会 (10月7日)

「コレクションの活用法/ミュージアムグッズの可能性」講師：大澤夏美
(「ミュージアムグッズのチカラ」著者)

- ①市町村立美術館活性化事業
- ②公立美術館共同巡回展 開催助成事業
- ③公立美術館共同巡回展 企画支援事業
- ④公立美術館共同地域交流プログラム助成事業
- ⑤公立美術館地域展開型研修事業

公共ホール等活性化支援事業（地域の文化・芸術活動助成事業）

- ・ 全国の地方公共団体等が地域において主体的に取り組む事業に対し助成

〔創造プログラム〕 長期的展望をもった創造事業については最長3年にわたり助成

〔連携プログラム〕 複数の地方公共団体等が連携して取り組むネットワーク事業に助成

〔研修プログラム〕 公立文化施設職員や地域文化コーディネーター等の人材育成に助成

〔活性化計画プログラム〕 公立文化施設の政策評価や運営改善のための計画策定に助成

【創造プログラム】



©M. Hioki

静岡県文化プログラム SPAC 『忠臣蔵2021』
(公財) 静岡県舞台芸術センター (令和3年6月)

【連携プログラム】



©椎原一久 (アクロス福岡提供)

「251年目のベートーヴェン」(福岡シンフォニーホール)
(公財) 鳥取県文化振興財団 (令和3年7月) /
(公財) アクロス福岡 (令和3年7月) /
(公財) 熊本県立劇場 (令和3年7月)



情報交流・調査研究事業

○情報発信・情報提供

- ・ 広報誌「地域創造レター」を毎月発行
- ・ 雑誌「地域創造」を年1回刊行
令和4年度は「ニューオープン」、「育成環境を考える」を特集
- ・ ホームページやフェイスブックによる情報提供

○調査研究

- ・ 「地域の公立文化施設実態調査」（5年に一度の悉皆調査を実施）
- ・ 時々のニーズに合ったテーマについての調査研究
これまで指定管理者制度やアウトリーチ事業のあり方等を調査
- ・ 令和3年度は、地域と文化芸術をつなげる劇場・ホールのコーディネーターの事例調査を実施
- ・ 令和4年度は、公立文化施設等が実施してきたアウトリーチの効果の検証と評価に関する調査を実施
- ・ 各調査の結果は地方公共団体、公共ホール等にフィードバック

○地域創造フェスティバル

- ・ 例年夏に地域創造の紹介を兼ね、登録アーティストによるクラシック音楽や現代ダンスの実演プレゼンテーションを披露
- ・ 文化芸術政策や公立文化施設における直近の課題などをテーマとしたシンポジウムも同時開催
- ・ あわせて全国都道府県・政令市文化行政担当課長会議を開催



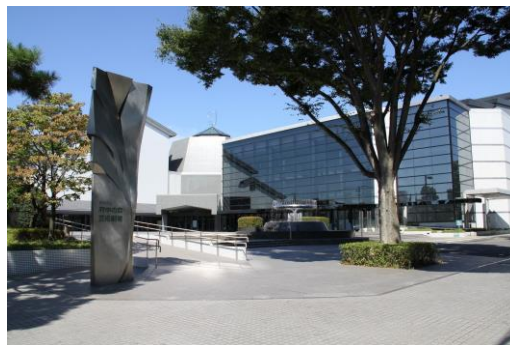
地域創造大賞（総務大臣賞）

- 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰。令和4年度で19回目の表彰。

①



②



③



④



⑤



令和4年度は次の5施設が受賞

- ①安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄【北海道美唄市】 ②府中市立府中の森芸術劇場【東京都府中市】
③神奈川県立青少年センター【神奈川県】 ④浜松市楽器博物館【静岡県浜松市】
⑤はつかいち文化ホール(ウッドワンさくらぴあ)【広島県廿日市市】

地域の伝統芸能等の保存

- ・地域の伝統文化等の保存・継承を支援するとともに、郷土に対する親しみと誇りを持ち地域づくりに取り組む機運を全国的に盛り上げ

第19回地域伝統芸能まつり（令和元年2月24日開催）



花輪ばやし（秋田県鹿角市）

長崎くんち龍踊（長崎県長崎市）

※このほか、

- ・地方公共団体等が公立文化施設で実施する公演等の支援
（地方フェスティバル事業）
- ・失われつつあり、記録に残されていない各地の伝統芸能等の映像化支援
（映像記録保存事業）
- ・映像記録をデジタルコンテンツ化し、これを集約しインターネットで発信する
「地域文化資産ポータル」
構築・運用等を実施

第23回「地域伝統芸能まつり」令和5年2月開催予定

- ・テーマ「息吹 ～天地を動かす～」
- ・会場：NHKホール⇒後日NHKで全国放送予定
- ・日本各地の地域伝統芸能9演目と古典芸能(能)1演目を披露

◎演目

地域伝統芸能：一人角力（愛媛県今治市）、田子神楽（青森県田子町）、御諏訪太鼓（長野県岡谷市）
高田神社横野獅子舞（岡山県津山市）、座喜味棒術（沖縄県読谷村）
今寺面浮立（佐賀県嬉野市）、伊賀和志神楽（広島県三次市）
エイサー（沖縄県沖縄市）、秋田竿灯まつり（秋田県秋田市）

古典芸能：復曲能「名取ノ老女」（短縮版） 出演：武田孝史、宝生和英 他



地域創造の事業における新型コロナウイルス感染防止の取組み

- 事業を実施される団体のご意向を極力尊重し、事業を実施する現場では
感染防止に最大限留意

【取組みの具体例】

- ・ 事業の実施に当たっては、それぞれの地域の事情を踏まえて柔軟に対応(時期や会場の変更、オンライン方式による開催など)
- ・ 音楽のアウトリーチでは、人と人の間隔の確保、飛沫飛散防止対策などを講じるとともに、アーティストが注意すべきポイント（接触を伴ったり、小道具等を使い回すような演出は避けることなど）を整理し徹底
- ・ アーティスト、コーディネーター、同行する役職員は、必要に応じてPCR検査を受けたうえで地域に赴き、事業を実施
- ・ やむを得ず事業を中止せざるを得ない場合でも、中止の判断までに要した経費は、原則として地域創造が負担




地域創造へのアクセス等

ホームページ：<https://www.jafra.or.jp/>

事業ごとの担当者もHPに掲載：

<https://www.jafra.or.jp/about/inquiry.html>

facebook： 公式 facebook：[facebook.com/RegionalArtActivities](https://www.facebook.com/RegionalArtActivities)



【所在地】

〒107-0052

東京都港区赤坂2-9-11

オリックス赤坂2丁目ビル9F

(東京メトロ溜池山王駅11番出口直結)

代表Tel 03-5573-4050

【交通アクセス】

- 東京メトロ（地下鉄）銀座線 溜池山王駅 徒歩1分
- 東京メトロ（地下鉄）南北線 溜池山王駅 徒歩2分
- 東京メトロ（地下鉄）千代田線 赤坂駅2番出口 徒歩6分

